

平成16年度  
中間決算説明資料

株式会社 和歌山銀行

【目次】

平成16年度中間決算の概況

1. 中間決算概要	【単体】	..... P .	1
	【連結】	..... P .	4
2. 業務純益	【単体】	..... P .	5
3. 利鞘	【単体】	..... P .	5
4. 有価証券関係損益	【単体】	..... P .	5
5. 有価証券の評価損益	【単体】	..... P .	6
6. 自己資本比率	【単体・連結】	..... P .	7
7. ROE	【単体】	..... P .	7

貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況	【単体・連結】	..... P .	8
2. 貸倒引当金の状況	【単体・連結】	..... P .	9
3. リスク管理債権に対する引当率	【単体・連結】	..... P .	9
4. 金融再生法開示債権	【単体・連結】	..... P .	10
5. 金融再生法開示債権の保全状況	【単体】	..... P .	10
6. 開示債権とその保全状況	【単体】	..... P .	11
7. 預金、貸出金の残高等	【単体】	..... P .	12

## 平成16年度中間決算の概況

## 1. 中間決算概要【単体】

## (1) 損益概況【単体】

(単位：百万円)

		平成16年9月期		平成15年9月期	平成16年3月期 (平成15年度)
		(A)	(A) - (B)	(B)	
業務粗利益	1	4,386	320	4,706	9,110
(除く国債等債券関係損益)	2	4,369	300	4,669	9,132
資金利益	3	4,416	297	4,713	9,190
役務取引等利益	4	68	18	86	185
その他業務利益	5	98	5	93	265
(うち国債等債券関係損益)	6	17	20	37	21
経費(除く臨時処理分)	7	2,896	27	2,923	5,847
人件費	8	1,510	97	1,607	3,239
物件費	9	1,220	56	1,164	2,376
税金	10	165	13	152	231
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	11	1,489	294	1,783	3,263
(除く国債等債券関係損益)	12	1,472	273	1,745	3,285
一般貸倒引当金繰入額	13	138	1,243	1,381	1,840
業務純益	14	1,628	1,537	3,165	5,103
臨時損益	15	3,210	1,310	1,900	4,258
不良債権処理額	16	3,693	1,561	2,132	4,078
うち貸出金償却	17	30	30		2,101
うち個別貸倒引当金繰入額	18	3,644	1,512	2,132	1,977
株式等関係損益	19	349	54	295	482
株式等売却益	20	349	24	325	512
株式等売却損	21		30	30	30
株式等償却	22				
その他臨時損益	23	133	195	62	661
経常利益(は経常損失)	24	1,583	2,846	1,263	843
特別損益	25	264	190	74	84
税引前中間(当期)純利益 (は税引前中間純損失)	26	1,318	2,655	1,337	927
法人税、住民税及び事業税	27	12	1	11	20
法人税等調整額	28	248	248		
中間(当期)純利益 (は中間純損失)	29	1,578	2,904	1,326	907

(注)金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (2) 平成16年9月期中間決算(単体)の特徴

### 業務粗利益

資金運用収益は、貸出金の減少と利回りの低下による貸出金利息の減少が主要因となり前年同期比282百万円減少し4,562百万円となりました。また、資金調達費用は、預金の増加と利回りの上昇による預金利息の増加により前年同期比14百万円増加し、147百万円となりました。この結果、資金損益は前年同期比296百万円減少し、4,416百万円となりました。

また、役務取引等損益は前年同期比18百万円減少し、68百万円となり、その他業務損益は、国債等債券関係益が16百万円増加しましたが同関係損が36百万円増加したこと等により、5百万円減少し、98百万円となりました。

以上により、業務粗利益は前年同期比320百万円減少し、4,386百万円となりました。

### 経費

人件費が人員の削減及び賞与の削減効果により、前年同期比97百万円減少し1,510百万円となり、経費は、前年同期比27百万円減少し、2,896百万円となりました。

### 業務純益

業務純益は、前年同期に一般貸倒引当金の取崩1,381百万円を実施したこと及び資金利益の減少等により、前年同期比1,537百万円減少し、1,628百万円となりました。

### 臨時損益

株式等関係損益は減損処理の対象となる株式はなく、売却益349百万円を計上しましたが、不良債権処理額は、貸出金償却を30百万円、個別貸倒引当金繰入額を3,644百万円計上したこと等により、前年同期比1,561百万円増加いたしました。その結果、臨時損益は、前年同期比1,310百万円減少し3,210百万円となりました。

### 特別損益

特別利益は、償却債権取立益が前年同期比86百万円増加し204百万円計上したことが主要因となり、前年同期比155百万円増加し、273百万円となりました。

特別損失は、動産不動産処分損が前年同期比11百万円減少したこと等により、前年同期比34百万円減少し、9百万円となりました。

### 経常損失・中間純損失

上記の結果、経常損失は前年同期比2,846百万円減少し、1,583百万円となるとともに、中間純損失は、1,578百万円となりました。

## (3) 主要勘定残高【単体】

(単位：億円)

		平成16年9月期		平成15年9月期	平成16年3月期 (平成15年度)
		(A)	(A) - (B)	(B)	
貸出金	1	3,057	76	3,133	3,060
有価証券	2	572	5	567	571
コールローン・預け金等	3	598	104	494	537
その他	4	232	7	239	215
貸倒引当金	5	139	16	155	115
資産の部合計	6	4,321	42	4,279	4,268
預金・譲渡性預金	7	4,150	66	4,084	4,072
コールマネー等	8	1	1	0	0
その他	9	37	3	40	43
負債の部合計	10	4,189	64	4,125	4,116
資本金	11	127	0	127	127
資本剰余金	12	4	0	4	4
利益剰余金	13	9	22	13	9
土地再評価差額金	14	5	0	5	5
その他有価証券評価差額金	15	2	0	2	4
自己株式	16	0	0	0	0
資本の部合計	17	131	22	153	151
負債及び資本の部合計	18	4,321	42	4,279	4,268

単位未満を切り捨てて表示しております。前年度同期比較は表上計算によります。

## 【連結】

(連結損益計算書ベース)

(単位：百万円)

		平成16年9月期		平成15年9月期	平成16年3月期 (平成15年度)
		(A)	(A) - (B)	(B)	
連結粗利益	1	4,517	327	4,844	9,376
資金利益	2	4,463	295	4,758	9,285
役務取引等利益	3	253	17	270	549
その他業務利益	4	199	15	184	457
営業経費	5	2,932	4	2,928	5,848
一般貸倒引当金繰入額	6	172	1,198	1,370	1,816
不良債権処理額	7	3,805	1,585	2,220	4,240
うち貸出金償却	8	85	4	89	2,254
うち個別貸倒引当金繰入額	9	3,701	1,570	2,131	1,985
その他経常損益(除く与信関係費用)	10	510	286	224	193
経常利益(は経常損失)	11	1,538	2,828	1,290	910
特別損益	12	265	188	77	78
税金等調整前中間(当期)純利益 (は税金等調整前純損失)	13	1,272	2,639	1,367	988
法人税、住民税及び事業税	14	37	15	22	50
法人税等調整額	15	240	245	5	12
少数株主利益	16	18	4	14	28
中間(当期)純利益(は中間純損失)	17	1,568	2,903	1,335	922

(注)1.金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(連結対象会社数)

(単位：社)

連結子会社数	2	0	2	2
--------	---	---	---	---

(和歌山銀行)

## 2. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	平成16年9月期		平成15年9月期	平成16年3月期 (平成15年度)
	(A)	(A) - (B)	(B)	
(1) 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,489	294	1,783	3,263
職員一人当たり(千円)	2,915	399	3,314	6,239
(2) 業務純益	1,628	1,537	3,165	5,103
職員一人当たり(千円)	3,187	2,695	5,882	9,758

## 3. 利鞘【単体】

全体

(単位：%)

	平成16年9月期		平成15年9月期	平成16年3月期 (平成15年度)
	(A)	(A) - (B)	(B)	
(1) 資金運用利回	2.20	0.14	2.34	2.30
貸出金利回	2.75	0.08	2.83	2.78
有価証券利回	1.35	0.07	1.28	1.32
(2) 資金調達原価	1.50	0.02	1.52	1.53
預金等原価	1.49	0.02	1.51	1.52
預金等利回	0.07	0.01	0.06	0.06
経費率	1.42	0.02	1.44	1.45
(3) 総資金利鞘	0.70	0.12	0.82	0.77
(4) 預貸金利鞘	1.26	0.06	1.32	1.26

国内

(単位：%)

	平成16年9月期		平成15年9月期	平成16年3月期 (平成15年度)
	(A)	(A) - (B)	(B)	
(1) 資金運用利回	2.13	0.15	2.28	2.23
貸出金利回	2.75	0.08	2.83	2.78
有価証券利回	1.05	0.04	1.01	1.01
(2) 資金調達原価	1.49	0.02	1.51	1.52
預金等原価	1.47	0.02	1.49	1.51
預金等利回	0.07	0.01	0.06	0.06
経費率	1.40	0.03	1.43	1.44
(3) 総資金利鞘	0.64	0.13	0.77	0.71
(4) 預貸金利鞘	1.28	0.06	1.34	1.27

## 4. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	平成16年9月期		平成15年9月期	平成16年3月期 (平成15年度)
	(A)	(A) - (B)	(B)	
国債等債券関係損益(債券5勘定尻)	17	20	37	21
売却益	57	13	44	45
償還益	2	2	0	0
売却損	30	30		54
償還損	12	5	7	14
償却				

(単位：百万円)

	平成16年9月期		平成15年9月期	平成16年3月期 (平成15年度)
	(A)	(A) - (B)	(B)	
株式等損益(株式3勘定尻)	349	54	295	482
売却益	349	24	325	512
売却損			30	30
償却				

## 5. 有価証券の評価損益

## (1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券		時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券		償却原価法
その他有価証券	時価のあるもの	時価法（評価差額を全部資本直入により処理）
	時価のないもの	原価法又は償却原価法
子会社株式及び関連会社株式		原価法

## (2) 評価損益

## 【 単 体 】

(単位：百万円)

	平成16年9月末				平成16年3月末		
	評価損益				評価損益	評価益	評価損
		16年3月末比	評価益	評価損			
満期保有目的有価証券	948	36	304	1,253	984	200	1,184
子会社・関連会社株式							
その他有価証券	380	329	748	367	709	1,281	571
株 式	504	554	528	24	1,058	1,087	28
債 券	93	255	203	296	348	122	470
うち国債	195	195	71	267	390	27	417
その他	29	29	16	46	0	70	71
合 計	567	293	1,052	1,620	274	1,481	1,755
株 式	504	554	528	24	1,058	1,087	28
債 券	163	357	497	334	194	321	515
その他	1,235	96	26	1,262	1,139	72	1,211

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額（時価）と取得原価との差額を計上しております。

2. 平成16年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は226百万円、平成16年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、422百万円であります。

## 6. 自己資本比率 (国内基準)

## 【 単 体 】

(単位:百万円)

	16年9月末			16年3月末	15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
(1) 自己資本比率	5.90%	0.73%	0.81%	6.63%	6.71%
(2) 基本的項目	12,338	1,579	2,249	13,917	14,587
(3) 補完的項目	1,945	19	31	1,926	1,976
(イ) 一般貸倒引当金	1,506	18	31	1,488	1,537
(ロ) 負債性資本調達手段等					
(4) 控除項目	50	0	0	50	50
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	14,233	1,560	2,280	15,793	16,513
(6) リスクアセット	241,040	2,930	4,971	238,110	246,011
(参考) Tier 比率	5.11%	0.73%	0.81%	5.84%	5.92%

## 【 連 結 】

(単位:百万円)

	16年9月末			16年3月末	15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
(1) 自己資本比率	5.97%	0.71%	0.83%	6.68%	6.80%
(2) 基本的項目	12,590	1,549	2,239	14,139	14,829
(3) 補完的項目	1,956	20	20	1,936	1,976
(イ) 一般貸倒引当金	1,517	20	20	1,497	1,537
(ロ) 負債性資本調達手段等					
(4) 控除項目	50	0	0	50	50
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	14,495	1,530	2,260	16,025	16,755
(6) リスクアセット	242,779	3,100	3,298	239,679	246,077
(参考) Tier 比率	5.18%	0.71%	0.84%	5.89%	6.02%

## 7. ROE

## 【 単 体 】

(単位:%)

	16年度中間期			15年度	15年度中間期
	(16年9月期)	15年度比	15年度中間期比		
業務純益ベース(一般貸倒引当金繰入前)(注1)	20.98	1.21	3.03	22.19	24.01
業務純益ベース(注2)	22.94	11.77	19.68	34.71	42.62
当期純利益ベース(注3)				6.16	17.86

(注1)  $\frac{\text{業務純益(一般貸倒引当金繰入前)}}{(\text{期首株主資本} + \text{中間期末(期末)株主資本}) \div 2} \times 100$

(注2)  $\frac{\text{業務純益}}{(\text{期首株主資本} + \text{中間期末(期末)株主資本}) \div 2} \times 100$

(注3)  $\frac{\text{中間(当期)純利益}}{(\text{期首株主資本} + \text{中間期末(期末)株主資本}) \div 2} \times 100$

中間期については年間に換算し計算しております。

## 貸出金等の状況

## 1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施(前・**後**)

【単体】

(単位:百万円)

		16年9月末			16年3月末	15年9月末
			16年3月末比	15年9月末比		
リスク管理債権	破綻先債権額	3,890	967	385	2,923	3,505
	延滞債権額	29,361	5,950	1,726	23,411	27,635
	3ヶ月以上延滞債権額	644	393	322	251	966
	貸出条件緩和債権額	6,605	8,274	10,140	14,879	16,745
	合計	40,502	963	8,350	41,465	48,852
部分直接償却額		21,648	140	4,818	21,788	16,830
総貸出金		305,729	278	7,606	306,007	313,335

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権額	1.27	0.31	0.15	0.96	1.12
	延滞債権額	9.60	1.95	0.78	7.65	8.82
	3ヶ月以上延滞債権額	0.21	0.13	0.10	0.08	0.31
	貸出条件緩和債権額	2.16	2.70	3.18	4.86	5.34
	合計	13.25	0.30	2.34	13.55	15.59

(注)少数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

部分直接償却実施(前・**後**)

【連結】

(単位:百万円)

		16年9月末			16年3月末	15年9月末
			16年3月末比	15年9月末比		
リスク管理債権	破綻先債権額	3,903	978	395	2,925	3,508
	延滞債権額	29,565	5,951	1,754	23,614	27,811
	3ヶ月以上延滞債権額	682	398	317	284	999
	貸出条件緩和債権額	6,611	8,271	10,139	14,882	16,750
	合計	40,762	945	8,308	41,707	49,070
部分直接償却額		21,648	140	4,818	21,788	16,830
総貸出金		307,420	1,779	5,240	305,641	312,660

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権額	1.27	0.31	0.15	0.96	1.12
	延滞債権額	9.62	1.89	0.73	7.73	8.89
	3ヶ月以上延滞債権額	0.22	0.13	0.10	0.09	0.32
	貸出条件緩和債権額	2.15	2.72	3.21	4.87	5.36
	合計	13.26	0.39	2.43	13.65	15.69

(注)少数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## 2. 貸倒引当金の状況

部分直接償却実施(前・**後**)

## 【単体】

(単位:百万円)

	16年9月末			16年3月末	15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
貸倒引当金	13,919	2,360	1,642	11,559	15,561
一般貸倒引当金	3,001	139	597	3,140	3,598
個別貸倒引当金	10,918	2,499	1,045	8,419	11,963
特定海外債権引当勘定					
債権売却損失引当金					

## 【連結】

(単位:百万円)

	16年9月末			16年3月末	15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
貸倒引当金	14,221	2,383	1,596	11,838	15,817
一般貸倒引当金	3,125	172	617	3,297	3,742
個別貸倒引当金	11,095	2,555	979	8,540	12,074
特定海外債権引当勘定					
債権売却損失引当金					

## 3. リスク管理債権に対する引当率

## 【単体】

(単位:%)

	16年9月末			16年3月末	15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
部分直接償却後	34.37	6.49	2.52	27.88	31.85

(注) 1. 貸倒引当率 = 貸倒引当金 / リスク管理債権

2. 小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## 【連結】

(単位:%)

	16年9月末			16年3月末	15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
部分直接償却後	34.89	6.51	2.66	28.38	32.23

(注) 1. 貸倒引当率 = 貸倒引当金 / リスク管理債権

2. 小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## 4. 金融再生法開示債権

部分直接償却実施(前・**後**)

## 【単体】

(単位:百万円)

	16年9月末			16年3月末	15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,479	3,517	2,059	11,962	13,420
危険債権	17,841	3,430	71	14,411	17,770
要管理債権	7,250	7,880	10,461	15,130	17,711
合計(A)	40,571	933	8,331	41,504	48,902
総与信残高(B)	308,531	134	7,431	308,665	315,962
総与信に占める比率(A)÷(B)	13.15%	0.30%	2.33%	13.45%	15.48%

(注)少数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## 【連結】

(単位:百万円)

	16年9月末			16年3月末	15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,615	3,552	2,110	12,063	13,505
危険債権	17,922	3,407	58	14,515	17,864
要管理債権	7,293	7,874	10,457	15,167	17,750
合計(A)	40,831	915	8,289	41,746	49,120
総与信残高(B)	310,257	1,006	7,445	309,251	317,702
総与信に占める比率(A)÷(B)	13.16%	0.34%	2.30%	13.50%	15.46%

(注)少数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## 5. 金融再生法開示債権の保全状況

## 【単体】

(単位:百万円)

	16年9月末			16年3月末	15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
保 全 額 (C)	38,731	2,183	5,117	36,548	43,848
貸倒引当金(D)	11,689	1,286	2,287	10,403	13,976
担保保証等(E)	27,042	897	2,829	26,145	29,871

(注)貸倒引当金には、個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額を記載しております。

保全率(C)÷(A)	95.46%	7.40%	5.79%	88.06%	89.67%
------------	--------	-------	-------	--------	--------

(注)少数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

担保保証等控除後の開示債権 に対する引当率 (D)÷((A)-(E))	86.40%	18.67%	12.96%	67.73%	73.44%
---	--------	--------	--------	--------	--------

## 6. 開示債権とその保全状況【単体】

直接減額後ベース  
未収利息不計上基準：自己査定における債務者区分が破綻懸念先、実質破綻先、破綻先である債務者に対する貸出金の未収利息を不計上としております。

(単位：億円)

自己査定の債務者区分	金融再生法に基づく開示債権	保全状況	引当方針	引当金残高(引当率)
破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 155 (15/9末比 21)	保全 111 非保全 43	保全不足額に対し100%引当	個別貸倒引当金 43 (100%)
実質破綻先				
破綻懸念先	危険債権 178 (15/9末比 1)	保全 119 非保全 60	債権の回収可能性等を勘案して個別に査定の上必要とする額を引当	60 (100%)
要注意先	要管理債権 73 (15/3末比 105)	要管理債権中の担保・保証等による保全部分	自己査定の債務者区分(要注意先、正常先)に応じて過去の実績率に基づいて将来の予想損失額を引当	要管理債権に対する引当 14 (42.7%) 16 (平均0.61%)
正常先	正常債権 2,680			

## 特定海外債権引当勘定

総計	3,085
----	-------

貸倒引当金計	133
B. 個別引当金+要管理債権に対する一般貸倒引当金	117

A= + +	406 (15/9末比 83)
--------	--------------------

C 担保保証等による保全部分	270	D 担保・保証等による保全部分以外	135
----------------	-----	-------------------	-----

担保・保証等控除後債権に対する引当率 (B/D)	86.4%
(15/9末比)	+13.0%

保全率 ((B+C)/A)	95.5%
(15/9末比)	+5.9%

(注) 1. 金額、引当率は、四捨五入して表示しております。

2. 前年同期比較は、表上計算によります。

3. 破綻先・実質破綻先に対して部分直接償却216億円実施しております。

4. 引当率は、各区分に対する各引当額によるカバー率を示しておりますが「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」については開示額から担保等により保全された金額を除いた残額に対するカバー率を示しております。

## 7. 預金、貸出金の残高等

## (1) 預金、貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

	平成16年9月末			平成16年3月末	平成15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
預 金 ( 未 残 )	415,037	7,805	6,593	407,232	408,444
( 平 残 )	406,148	5,625	3,702	400,523	402,446
貸 出 金 ( 未 残 )	305,729	278	7,606	306,007	313,335
( 平 残 )	300,890	10,239	13,262	311,129	314,152

## (2) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	平成16年9月末			平成16年3月末	平成15年9月末
		16年3月末比	15年9月末比		
消 費 者 ロ ー ン 残 高	82,992	675	2,204	83,667	85,196
うち住宅ローン	68,642	444	917	69,086	69,559